



# 第2期データヘルス計画 進行中!

※第2期データヘルス計画は、すこやかサポート Plus の「データヘルス（基礎統計情報）」に掲載しています。



データヘルス計画は、健診・レセプト情報等のデータ分析に基づき、保健事業を効率的・効果的に実施するための事業計画です。

第2期データヘルス計画（2018～2023年度）の2年目となる2019年度、5つの優先課題に対する2019年度の取り組みをお知らせいたします。

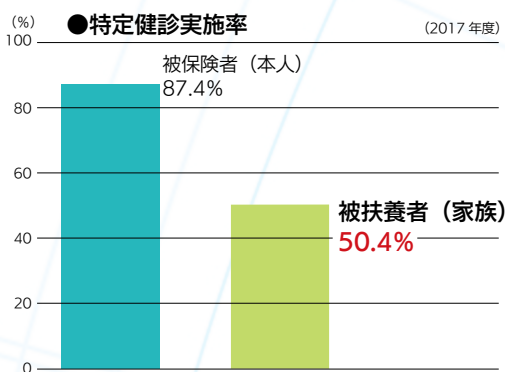


## 第2期データヘルス計画

# 5つの優先課題



### 1 被扶養者（家族）の特定健診実施率が低い



被扶養者の実施率が低く、また、被保険者については60歳以上の実施率の低さが40歳以上の平均実施率を下げています。

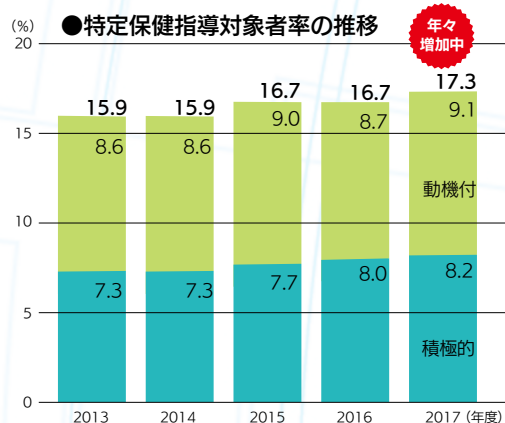
#### 対策の方向性

- 家族・任意継続・特例退職者に、特定健診の必要性をPRし、案内を強化する。
- 被扶養者が魅力的な健診と感じるプロモーションを行う。

#### 2019年度の具体的対策

- 例年通りご家族の未受診者に、はがきやメールで受診を促します。特に、3年間健診を受けていない配偶者の皆様には集中して受診勧奨します。
- 受診しやすい医療機関を選定します。
- 全体としては、検査項目がもれなく実施されているか、健診結果の報告に遅延がないかチェックし、精度の高い健診を目指します。

### 2 特定保健指導対象者率が増加



男性では50～59歳、女性では40～54歳で対象者率が増えています。

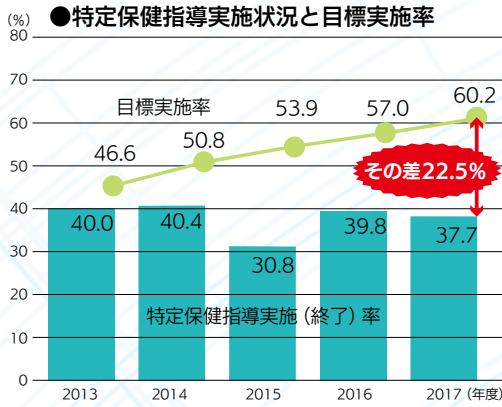
#### 対策の方向性

- 特定保健指導で健康状態を改善し、対象者率の減少をはかる。
- 40歳未満へも特定健診・特定保健指導を実施し、将来の特定保健指導対象者率の減少を目指す。
- 対象者率が増加している年代に向けた健康情報提供も検討する。

#### 2019年度の具体的対策

- 3の特定保健指導の実施率を上げることにより、現在の保健指導対象者率の改善をめざします。
- 40歳未満の加入者にも特定健診・特定保健指導を実施します。これにより、将来の対象者の減少を期待します。
- 加入者の皆様に対し、わかりやすい健康情報を発信します。

### 3 特定保健指導実施率が低い



国の目標を大幅に下回っています。特に家族・任意継続・特例退職者の実施率が低い状況です。

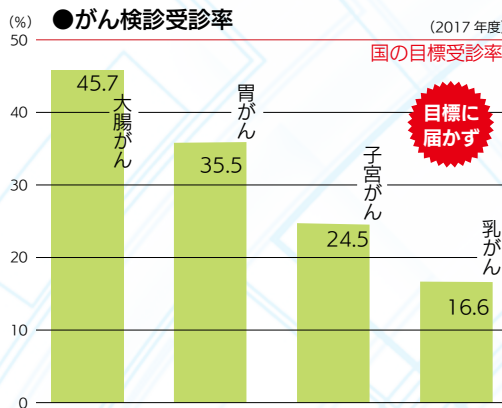
#### 対策の方向性

- ICT 面談の実施を拡張し、初回面接が受けやすい環境を提供する。
- 実施率が低い家族・任意継続・特例退職者には、健康情報の発信により、加入者全体の健康意識を高め健康行動を促す。

#### 2019 年度の具体的対策

- 昨年に引き続き、動機付け支援面接の評価を 3 カ月と期間を短くし、受診しやすい保健指導を実施します。
- ICT 面談（タブレットなどを用いた面談）を進め、保健指導を受けやすい環境を整えます。
- 定期的に委託業者の評価を実施し、質の高い保健指導の提供を心がけます。また、新規委託業者の導入も検討していきます。

### 4 がん検診の受診率が低い



女性社員の婦人科検診（乳がんを含む）受診率が低迷しています。定期健診と同時に受けられない事が大きな要因と考えられます。

ABC 検診（血液検査による胃がんスクリーニング）を実施したところ、40 歳以上の社員の 82% 超が胃がん発生リスクが低かったため効率のよい胃がん検診の提供が必要とされます。

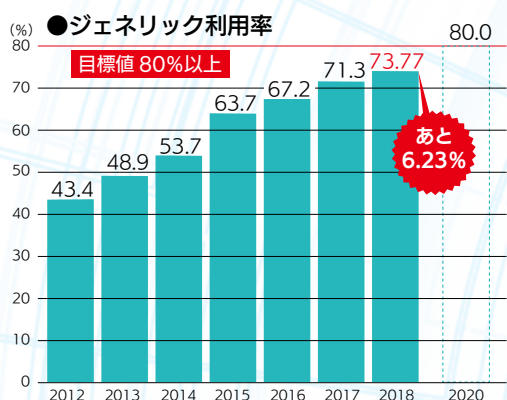
#### 対策の方向性

- 婦人科検診は利便性を向上し、受診率の向上をはかる。
- ピロリ菌感染者に対する除菌治療の推奨とともに、胃がん発生ハイリスク者へフォーカスした胃がん検診を実施し効率化をはかる。
- 大腸がんはスクリーニング検査（便潜血検査）で早期治療へ結びつける。

#### 2019 年度の具体的対策

- 引き続き、受診しやすい環境を提供します。  
⇒ 定期健康診断、特定健診と一緒にがん検診を実施しています。
- ⇒ 昨年より、健康増進センターにて子宮頸部細胞診、マンモグラフィを健診と一緒に実施できるようにしました。これにより婦人科検診の実施率は向上しています。
- 胃がん検診については、今年より社員に対しては ABC 検診によるリスク別の受診サイクルを導入し、効率のよいがん検診を実施します。

### 5 まだまだ低いジェネリック医薬品使用率



使用率は年々上昇していますが、国の目標とはまだまだ開きがあります。

#### 対策の方向性

- 被扶養者の利用率が低いと、差額通知の閲覧率を上げ、ジェネリック医薬品情報を広く伝える。（被保険者（本人）77% に対し、被扶養者（家族）は 70%）
- シール等を配布し、利用の意思を伝えやすい環境を提供する。

#### 2019 年度の具体的対策

- ジェネリック医薬品に置換可能な医薬品の情報を的確に把握し、皆様に情報を提供します。
- また、ジェネリック医薬品を知っていただくため、様々な広報活動を行います。